

2018年度 通期決算補足資料

2019年4月26日

株式会社イーブックイニシアティブジャパン

証券コード：3658



e b o o k
japan

1 2018年度 実績

- ・業績
- ・施策・トピックス

2 2018年度 第4四半期実績

3 今後の計画

4 参考資料

当社は、以下2つの事業により構成されています

① 電子書籍事業

電子書籍配信

- 電子書籍販売サービスの運営
- 書籍の電子化受託、電子書籍配信プラットフォームの受託開発、eBook
図書券の販売 等

電子書籍提供

- パートナー企業の電子書店運営受託、
電子書籍配信システム提供、書籍データ
提供

② クロスメディア事業

- 紙書籍等のオンライン販売

■ 売上高、経常利益ともに増加

- ✓ 売上高 14,786百万円 (前年度*1: 11,882百万円、前年度比: +24.4%)
- ✓ 経常利益 593百万円 (前年度*1: 261百万円、前年度比: +127.0%)

■ 電子書籍販売サービスをリニューアル、「ebookjapan」への移行、統合を促進

- ✓ 電子書籍販売サービスを全面リニューアル (2018/10)
- ✓ 「Yahoo!ブックストア」は2018年12月より、また「eBookJapan」は2019年2月より、移行先サービス「ebookjapan」への本格移行を開始
- ✓ 2019年3月をもって、「Yahoo!ブックストア」は「ebookjapan」へのサービス統合を完了

■ ヤフーとの連携促進に向け、経営体制を強化

- ✓ 代表取締役および経営体制の変更*2を決定 (2019/2)
- ✓ 本社オフィスを移転 (2019/2)
- ✓ コーポレートロゴを刷新 (2019/4)

*1: 当社は、2018年度より非連結決算に移行しました。そのため連結決算である前期との比較分析は、参考としてご覧ください。

*2: 取締役および監査役の選任については、第19期定時株主総会 (2019/6/25開催予定) における選任決議の可決を条件に正式決定

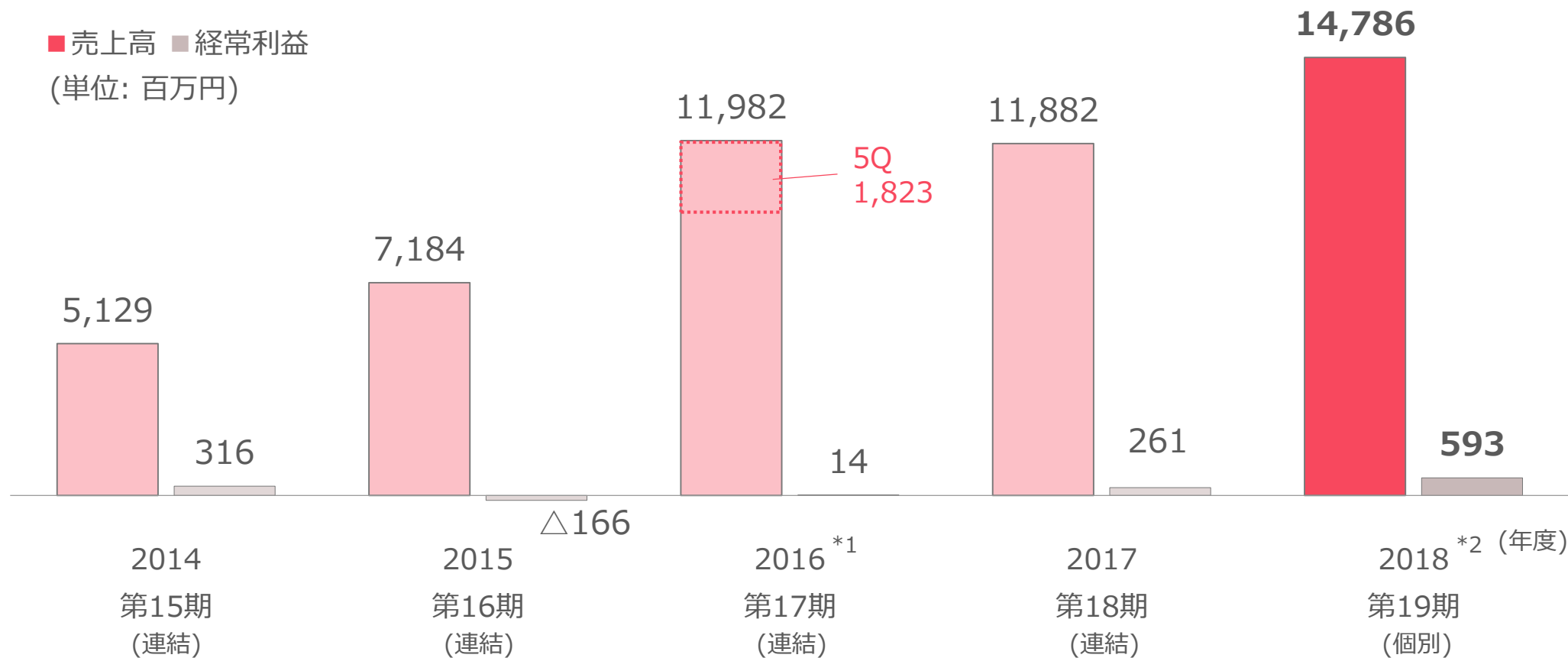
電子書籍事業の成長により、増収増益

(単位: 百万円)

	2018年度 (個別)	前年同期比*1 (連結)
売上高	14,786	+24.4%
電子書籍事業	10,424	+40.3%
電子書籍配信	8,275	+39.7%
電子書籍提供	2,149	+42.3%
クロスメディア事業	4,361	△2.0%
経常利益	593	+127.0%

*1: 2018年度より非連結決算に移行したことを受け、前年度との比較は参考値としてご覧ください。

電子書籍事業の継続的な成長により、増収増益



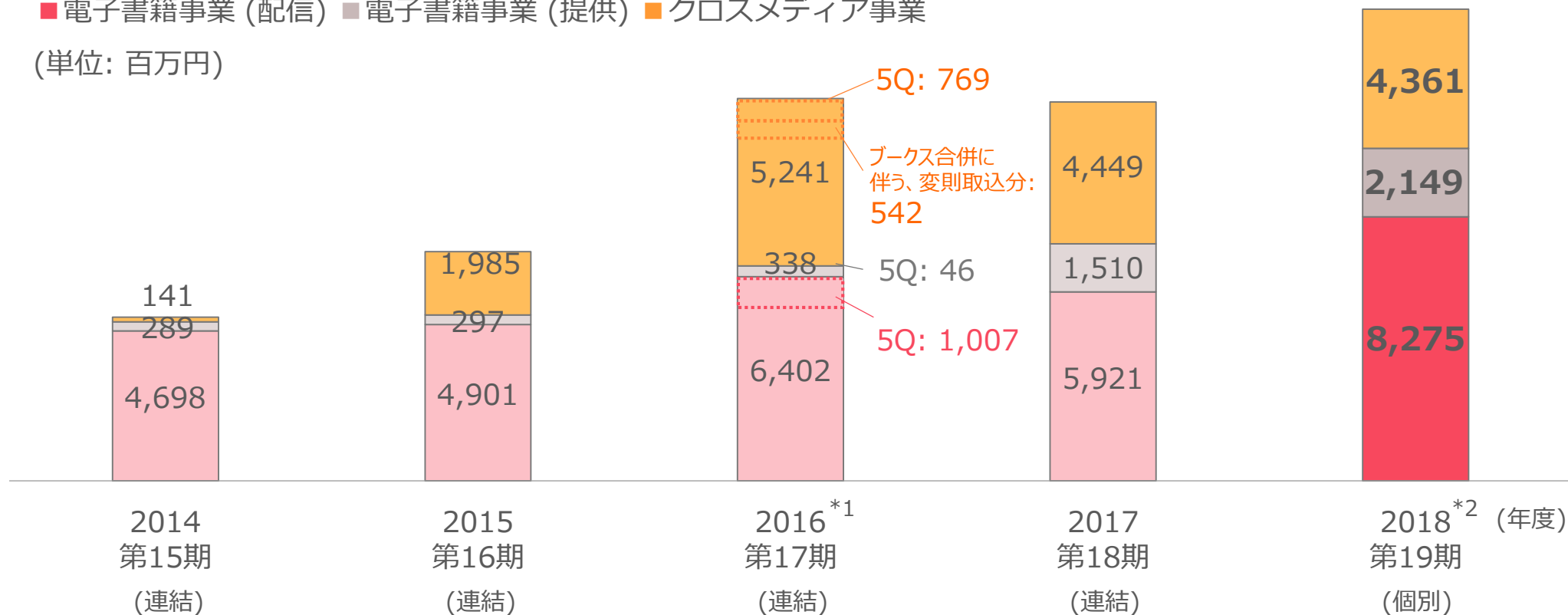
*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度は2016年2月～2017年3月の14ヵ月。5Qは2017年2月～3月の2ヵ月間。

*2: 2018年度より非連結決算に移行したことを受け、2014年度～2017年度は連結、2018年度は個別の数値となります。

電子書籍事業が配信・提供ともに成長を牽引

■ 電子書籍事業 (配信) ■ 電子書籍事業 (提供) ■ クロスメディア事業

(単位: 百万円)



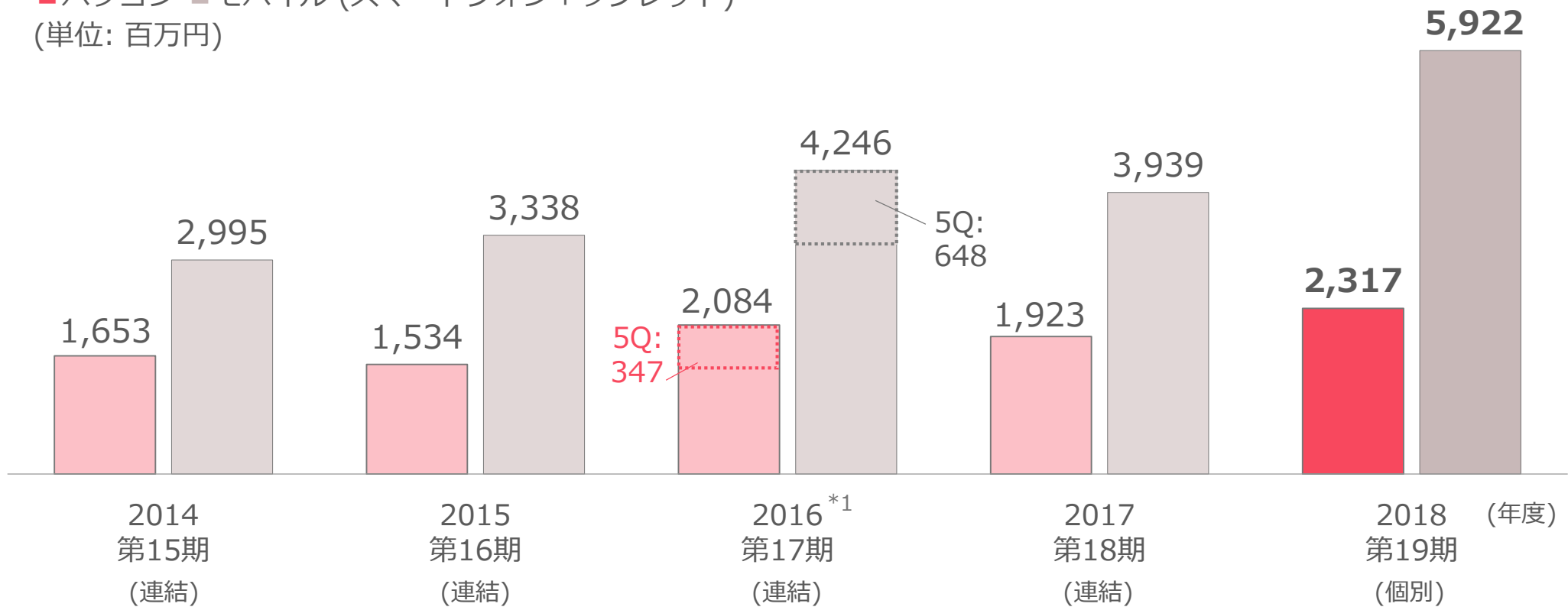
事業区分の見直しにより、過去に遡及して数値変更を行っております。

*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度は2016年2月～2017年3月の14ヵ月。5Qは2017年2月～3月の2ヵ月間。

*2: 2018年度より非連結決算に移行したことを受け、2014年度～2017年度は連結、2018年度は個別の数値となります。

ebookjapanへの移行によりモバイルが大幅増加

■パソコン ■モバイル (スマートフォン+タブレット)
(単位: 百万円)



*1: 2016年度中の決算期変更(事業年度を4/1~3/31に変更)により、2016年度のみ2016/2~2017/3の14ヵ月。

損益計算書の主要項目 (対前期比)

① 2018年度実績 [業績]

(単位: 百万円)

	2017年度 通期 (連結)	2018年度*1 通期 (個別)	増減率	備考
売上高	11,882	14,786	+24.4%	
電子書籍配信事業	7,432	10,424	+40.3%	Yahoo!ブックストアからの移行分を含む
電子書籍配信	5,921	8,275	+39.7%	
電子書籍提供	1,510	2,149	+42.3%	
クロスメディア事業	4,449	4,361	△2.0%	
売上原価	7,851	10,008	+27.5%	
著作権使用料	3,962	5,598	+41.3%	売上高増加に伴う増加
販売費及び一般管理費	3,776	4,194	+11.1%	運営費用の一部をヤフーが負担*2
支払手数料	347	460	+32.5%	売上高増加に伴う増加
人件費 (賞与を除く)	799	543	△32.1%	
広告宣伝費	384	713	+85.4%	主に4Qに実施した移行促進強化のため
ポイント引当金繰入額	733	532	△27.4%	
営業利益	254	583	+128.7%	
経常利益	261	593	+127.0%	
税引前当期純利益	255	308	+21.0%	
当期純利益	158	166	+5.1%	

*1: 2018年度より非連結決算に移行したことを受け、前年度との比較は参考値としてご覧ください。

*2: 電子書籍事業におけるヤフーと協力して運営を行うサービスの開始に伴い、運営費用の一部をヤフーが負担。
(当該負担分を除くと、実質的な人件費は前年同期と同水準)

貸借対照表の主要項目

① 2018年度実績 [業績]

(単位: 百万円)

	2017年度 通期(連結)	2018年度 通期(個別)	増減率	備考
資産	5,382	7,202	+33.8%	
現金及び預金	2,719	3,580	+31.7%	
売掛金	1,280	1,865	+45.7%	売上高増加に伴う増加
負債	2,208	3,802	+72.2%	
買掛金	1,382	2,206	+59.6%	売上原価増加に伴う増加
純資産	3,174	3,400	+7.1%	
資本金	854	872	+2.2%	
資本剰余金	1,140	1,158	+1.6%	
利益剰余金	1,144	1,336	+16.8%	
自己株式	△0	△0	+218.9%	

売上高、営業利益及び経常利益は、直近業績予想を超過

(単位: 百万円)

	2018年度 予想 (2019年1月25日公表)	2018年度 実績	予想との差異
売上高	14,000	14,786	+5.6%
営業利益	560	583	+4.1%
営業利益率	4.0%	3.9%	—
経常利益	560	593	+5.9%
経常利益率	4.0%	4.0%	—
当期純利益	180	166	△7.7%

1 2018年度 実績

- ・業績
- ・施策・トピックス

2 2018年度 第4四半期実績

3 今後の計画

4 参考資料

ヤフーグループ内における電子書籍サービスの重複解消を目的に ebookjapanへの本格移行を開始

これまで



2019年2月以降



*1: 2018年3月に締結した業務提携契約に基づき、当社（おもにアプリ、ウェブサイトの企画・制作・運営、広告宣伝・販売促進施策の企画・実行、バックエンドシステムの開発、コンテンツの調達等を担当）とヤフー（おもにヤフー各種サービスとの連携による集客・プロモーション、フロントエンドシステムの開発、決済手段の提供等を担当）がそれぞれの強みを活かした役割分担により運営。

ヤフーとの連携を強化、グループ内サービスとの協力施策を実現



- 人気マンガの読み放題企画において、Yahoo! JAPAN サイト・アプリとの集客連携
- Yahoo!プレミアム会員がよりお得に購入できる仕組みを導入

当社が運営するオンライン書店が、「Yahoo!ショッピング(本、雑誌、コミック部門)」にて
2018年の年間ベストストア1位・2位を獲得

YAHOO! ショッピング
JAPAN

2018年 年間ベストストア「本、雑誌、コミック部門」



1位

「bookfanプレミアム」



2位

「bookfan @Yahoo!店」



インドネシア向け電子書店サービス「MangaMon」を 2019年5月30日をもって終了予定

国内電子書籍事業に経営資源を集中



MangaMon
Toko Buku Digital

インドネシアでの電子書店サービス (2015年11月 サービス開始)

サービスの終了 ※現地日付

サービス終了案内 : 2019年4月10日

サービス終了 : 2019年5月30日 (予定)

※本件詳細につきましては、2019年4月10日付「インドネシア向け電子書店「MangaMon」サービス終了に関するお知らせ」をご参照ください。

事業のスピードと生産性向上を目的に、本社オフィスを半蔵門に移転



- ワークスペースをワンフロアにし、コミュニケーションを活性化
- フリーアドレスを導入し、フレキシブルに働ける環境を整備
- 近隣にオフィスを構えるヤフーとの業務連携促進



ロゴに込めた思い

電子書籍の“ど真ん中”で業界を牽引していく企業という誇りがこのロゴには込められています。

多くの人の生き方に影響をもたらす書籍を提供し続けていくという想いを、奇をてらわずに書籍のアイコンで表現しました。

本を媒介に、“人と人との和”が世界中に広がっていく様子を、“円”がモチーフの文字デザインで表現しています。

“e”の文字だけを少し崩して右肩上がりにする事で、エンタメコンテンツを扱っている企業として遊び心を持たせるとともに、書籍の未来を牽引する様子を表しました。

また老若男女が日常的に使えるサービスにしていくという想いを、王道の象徴とも言える色、赤（朱色）に込めています。

1 2018年度 実績

- ・業績
- ・施策・トピックス

2 2018年度 第4四半期実績

3 今後の計画

4 参考資料

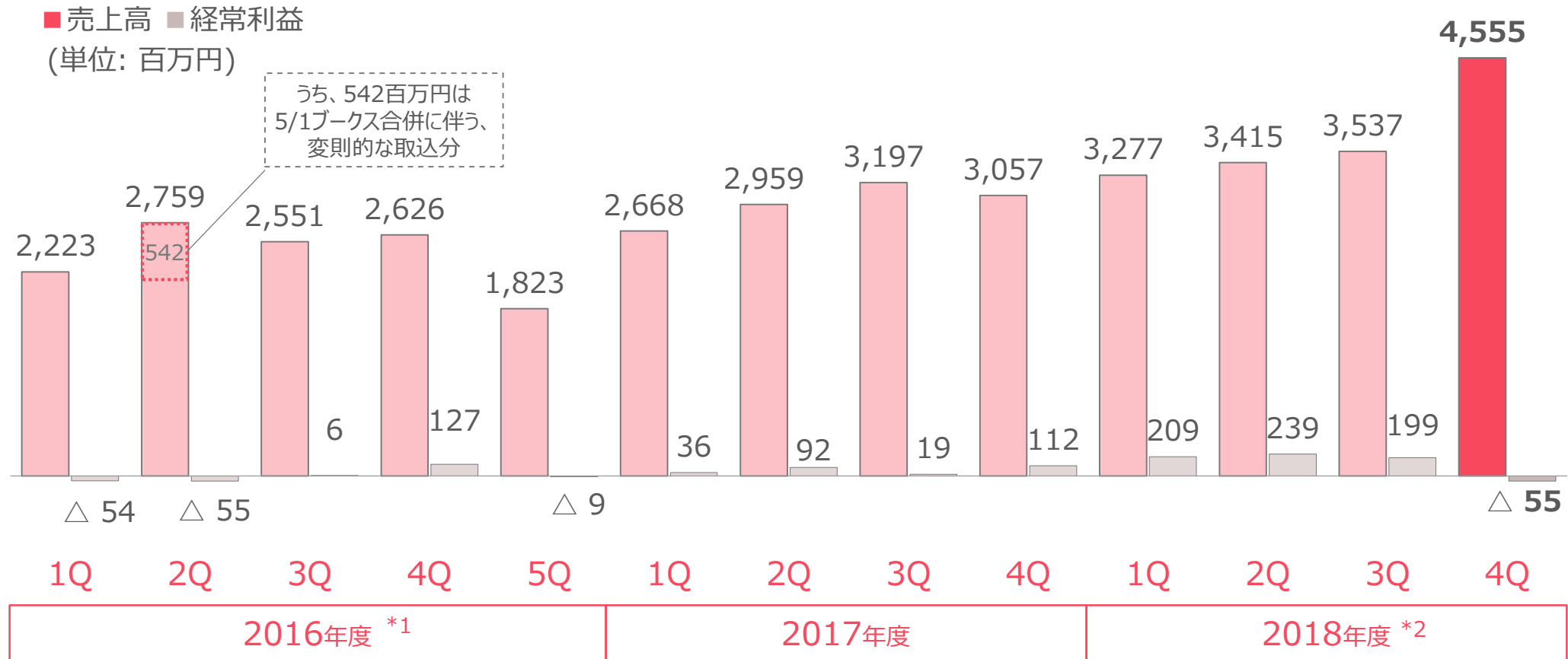
売上高は過去最高、電子書籍事業が大きく牽引

(単位: 百万円)

	2018年度4Q (個別)	前年同期比*1 (連結)	前四半期比 (個別)
売上高	4,555	+49.0%	+28.8%
電子書籍事業	3,361	+87.5%	+38.2%
電子書籍配信	2,985	+122.5%	+63.0%
電子書籍提供	376	△16.7%	△37.3%
クロスメディア事業	1,193	△5.6%	+8.0%
経常利益	△55	—	—

*1: 2018年度より非連結決算に移行したことを受け、前年度との比較は参考値としてご覧ください。

売上高は過去最高、サービス移行促進費用も予定通り

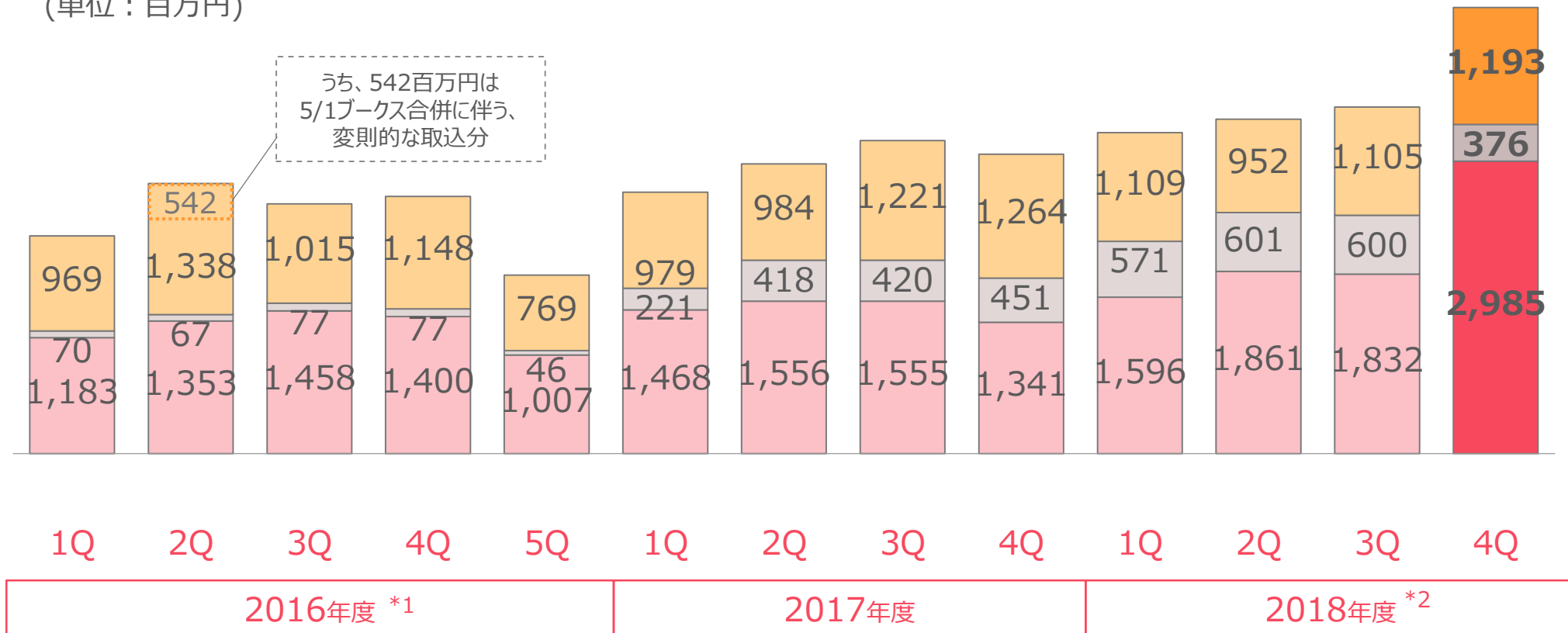


*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度は2016年2月～2017年3月の14ヵ月。5Qは2017年2月～3月の2ヵ月間。

*2: 2018年度より非連結決算に移行したことを受け、2016年度、2017年度は連結、2018年度は個別の数値となります。

ebookjapanへの移行により、電子書籍事業(配信)に大きくシフトし伸長

■ 電子書籍事業 (配信) ■ 電子書籍事業 (提供) ■ クロスメディア事業
(単位：百万円)

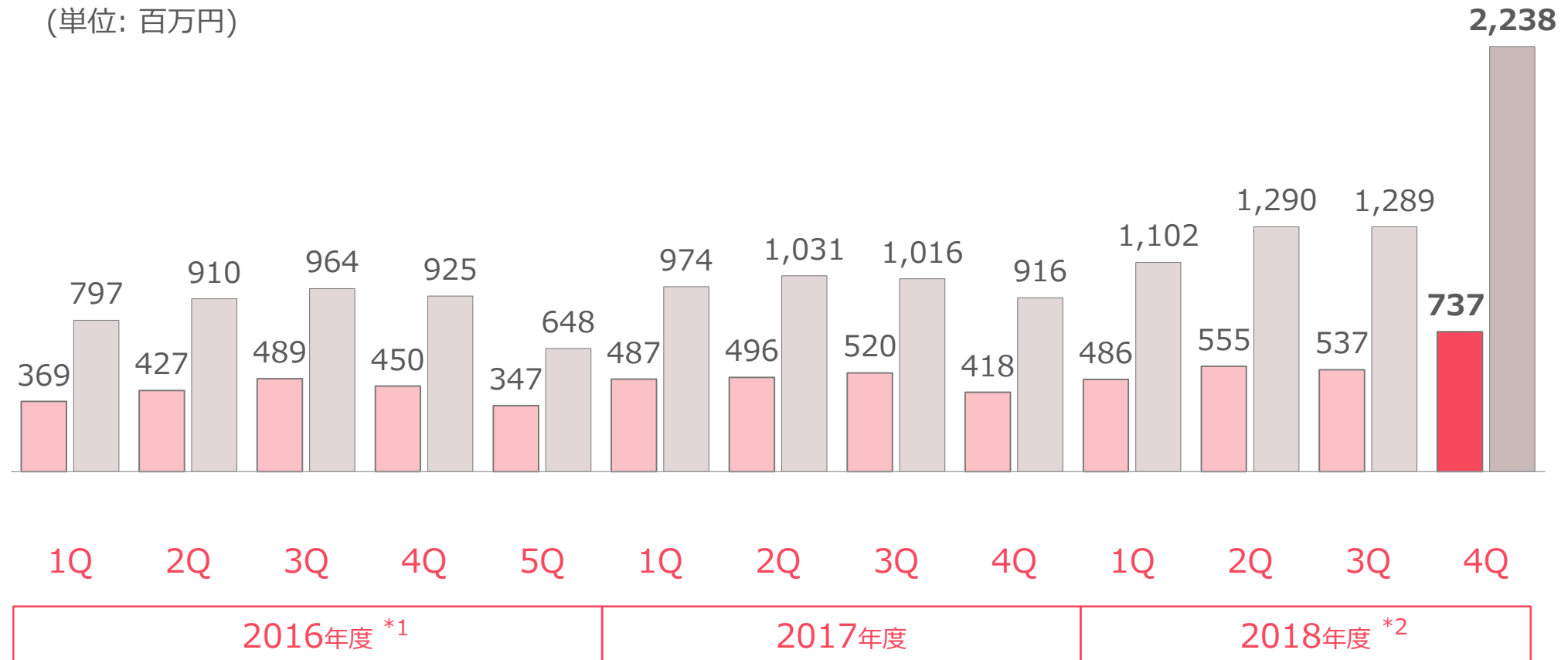


*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度は2016年2月～2017年3月の14ヵ月。5Qは2017年2月～3月の2ヵ月間。

*2: 2018年度より非連結決算に移行したことを受け、2016年度、2017年度は連結、2018年度は個別の数値となります。

ebookjapanへの移行によりモバイルが大幅増加

■ パソコン ■ モバイル (スマートフォン+タブレット)
(単位: 百万円)



*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度は2016年2月～2017年3月の14ヵ月。5Qは2017年2月～3月の2ヵ月間。

*2: 2018年度より非連結決算に移行したことを受け、2016年度、2017年度は連結、2018年度は個別の数値となります。

損益計算書の主要項目

② 4Q業績

(単位: 百万円)

	2017年度4Q (連結)	2018年度4Q*1 (個別)	増減率	備考
売上高	3,057	4,555	+49.0%	
電子書籍事業	1,792	3,361	+87.5%	Yahoo!ブックストアからの移行に伴い増加
クロスメディア事業	1,264	1,193	△5.6%	
売上原価	2,115	2,876	+36.0%	
著作権使用料	994	1,792	+80.2%	売上高増加に伴い増加
販売費及び一般管理費	834	1,746	+109.3%	運営費用の一部をヤフーが負担*2
支払手数料	86	171	+98.3%	売上高増加に伴い増加
人件費 (賞与を除く)	189	174	△7.6%	
広告宣伝費	47	370	+680.9%	新サービスの広告宣伝強化のため増加
ポイント引当金繰入額	154	77	△49.9%	サービス移行に伴い施策減少のため
営業利益	107	△67	—	
経常利益	112	△55	—	
税引前当期純利益	112	△68	—	
四半期純利益	68	△72	—	

*1: 2018年度より非連結決算に移行したことを受け、前年度との比較は参考値としてご覧ください。

*2: 電子書籍事業におけるヤフーと協力して運営を行うサービスの開始に伴い、運営費用の一部をヤフーが負担。
(当該負担分を除くと、実質的な人件費は前年同期と同水準)

貸借対照表の主要項目 (前四半期比)

② 4Q業績

(単位: 百万円)

	2018年度3Q (個別)	2018年度4Q (個別)	増減率	備考
資産	6,085	7,202	+18.4%	
現金及び預金	2,947	3,580	+21.4%	
売掛金	1,497	1,865	+24.5%	売上高増加に伴う増加
負債	2,622	3,802	+45.0%	
買掛金	1,715	2,206	+28.6%	売上原価増加に伴う増加
純資産	3,462	3,400	△1.8%	
資本金	866	872	+0.7%	新株予約権の一部行使
資本剰余金	1,152	1,158	+0.5%	新株予約権の一部行使
利益剰余金	1,408	1,336	△5.1%	四半期純利益減少による減少
自己株式	0	0	+118.7%	

1 2018年度 実績

- ・業績
- ・施策・トピックス

2 2018年度 第4四半期実績

3 今後の計画

4 参考資料

グループシナジーを強化



＝ SoftBank

YAHOO!
JAPAN

2019年3月まで

サービス、プロダクトの統合

The diagram shows the transition from two separate entities to a unified one. At the top, the logos for **ebookjapan** (with 'INITIATIVE' in smaller text) and **YAHOO! BOOKSTORE JAPAN** are displayed. A large downward-pointing arrow indicates the integration process. Below the arrow is the unified logo for **ebook japan**, which features a stylized red book icon. Underneath the logo, the text reads: **ウェブサービス／アプリサービス (当社とヤフーが協力して運営)**.

2019年度～

本格的なグループシナジー

代表取締役および経営体制の変更により連携を高め、グループのトラフィック(集客力)、アセット、知見、インフラを本格的に活用、グループシナジーを強化

引き続き
サービス、プロダクトの磨き込み

グループシナジーを最大限発揮し、「電子コミック国内取扱高No.1」を目指す



さらなる事業成長の加速を目的に経営体制を変更(2019年6月以降*1)

取締役

- 代表取締役社長 社長執行役員CEO 高橋 将峰
- 取締役 執行役員COO 辻 靖
- 取締役 執行役員CFO 阿部 逸人
- 取締役 秀 誠 ヤフー株式会社 執行役員
コマースカンパニー 事業推進室長
- 取締役 大島 薫 ヤフー株式会社
コマースカンパニー事業推進室 コマースマーケティング本部長
- 取締役 片岡 裕 ヤフー株式会社 執行役員
メディアカンパニー メディア統括本部長
- 取締役 寺田 航平

監査役

- 監査役 赤松 万也
- 監査役 鬼塚 ひろみ
- 監査役 高橋 鉄

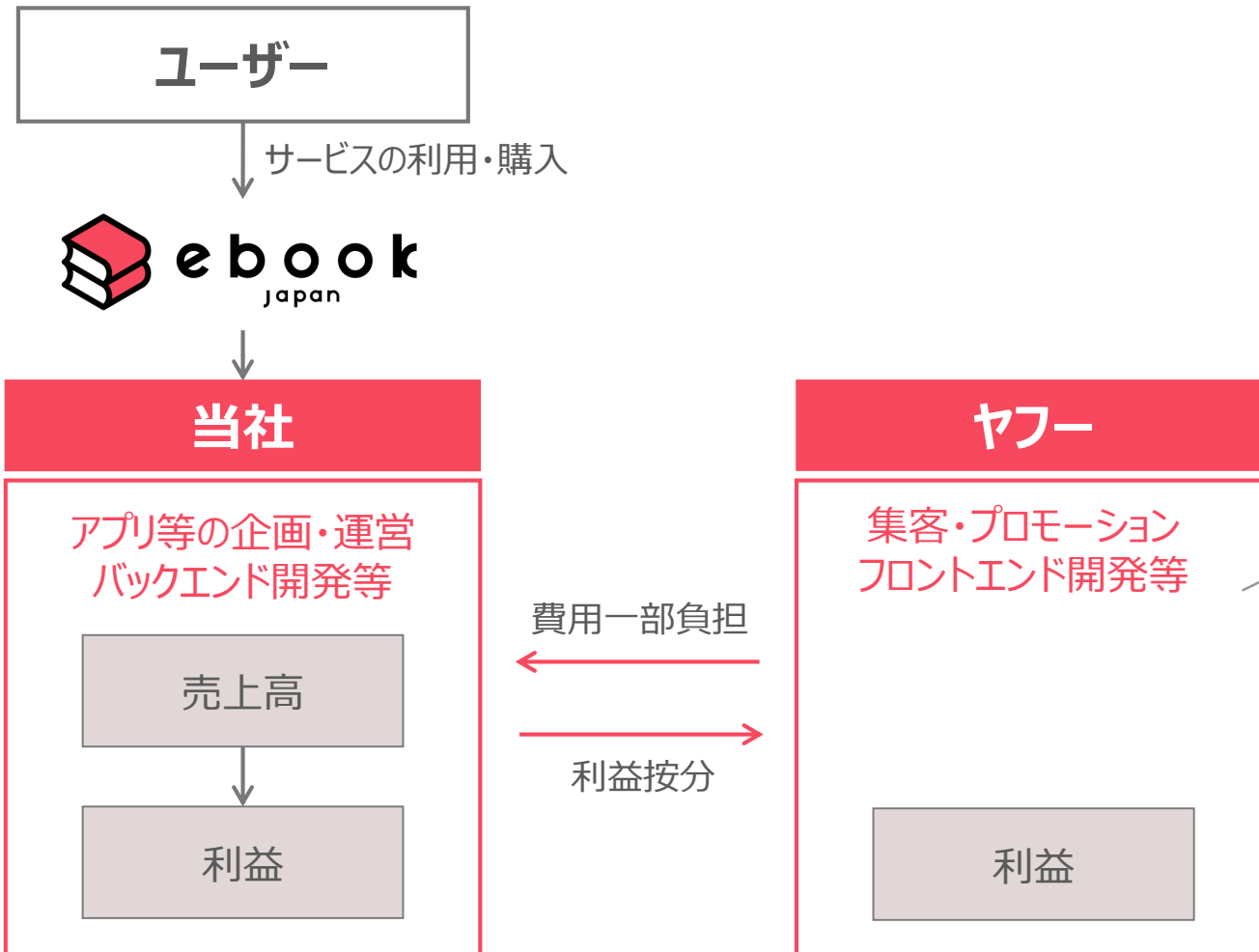
*1: 取締役および監査役の選任については、第19期定時株主総会（2019/6/25開催予定）における選任決議の可決を条件に正式決定。

売上高19,000百万円、営業利益750百万円での着地を想定

(単位: 百万円)

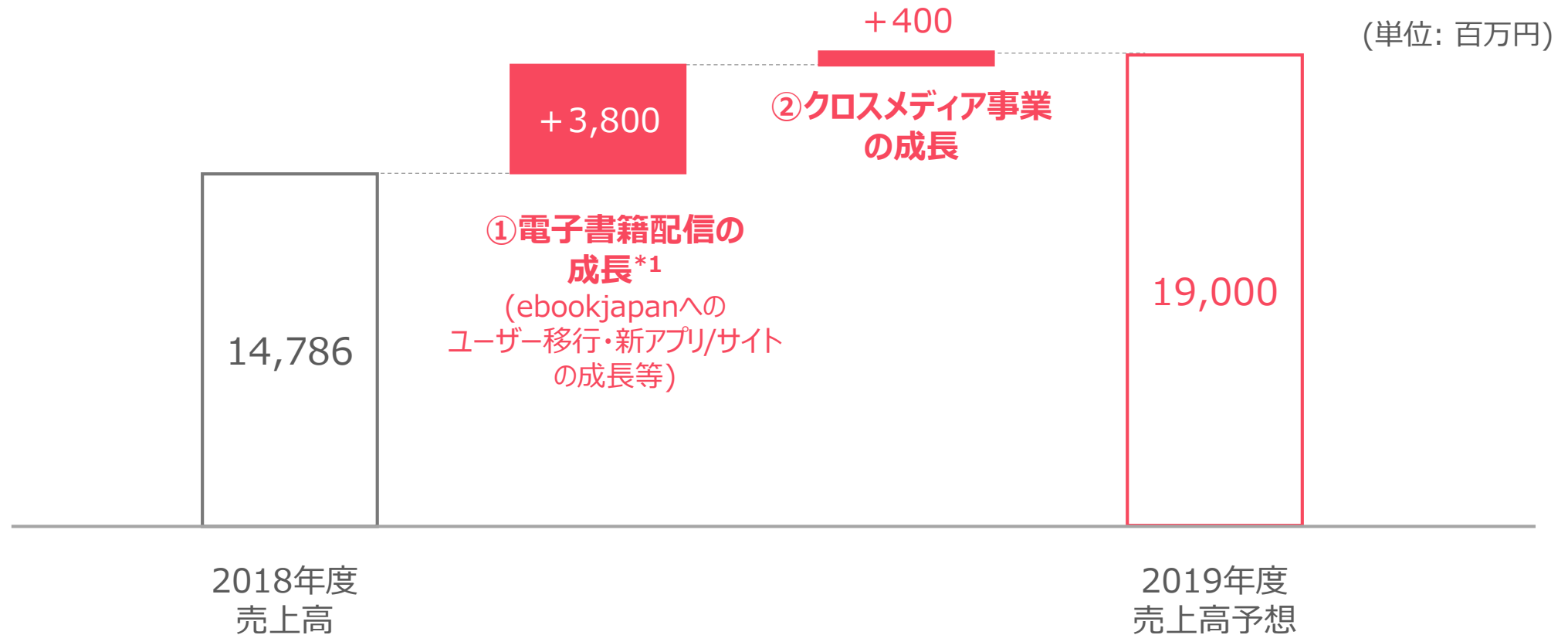
	2018年度 実績	2019年度 予想	増減率
売上高	14,786	19,000	+28.5%
営業利益	583	750	+28.6%
営業利益率	3.9%	3.9%	—
経常利益	593	750	+26.4%
経常利益率	4.0%	3.9%	—
税引前当期純利益	308	750	—
当期純利益	166	450	+170.9%

売上は当社で計上、事業運営に関わる費用及び利益を
各々の役務に応じてヤフーと按分



「Yahoo!ブックストア」は、
ヤフーグループ内における電子書籍
サービスの重複解消を目的に、
3月末にサービスを終了し、
「ebookjapan」への統合を完了

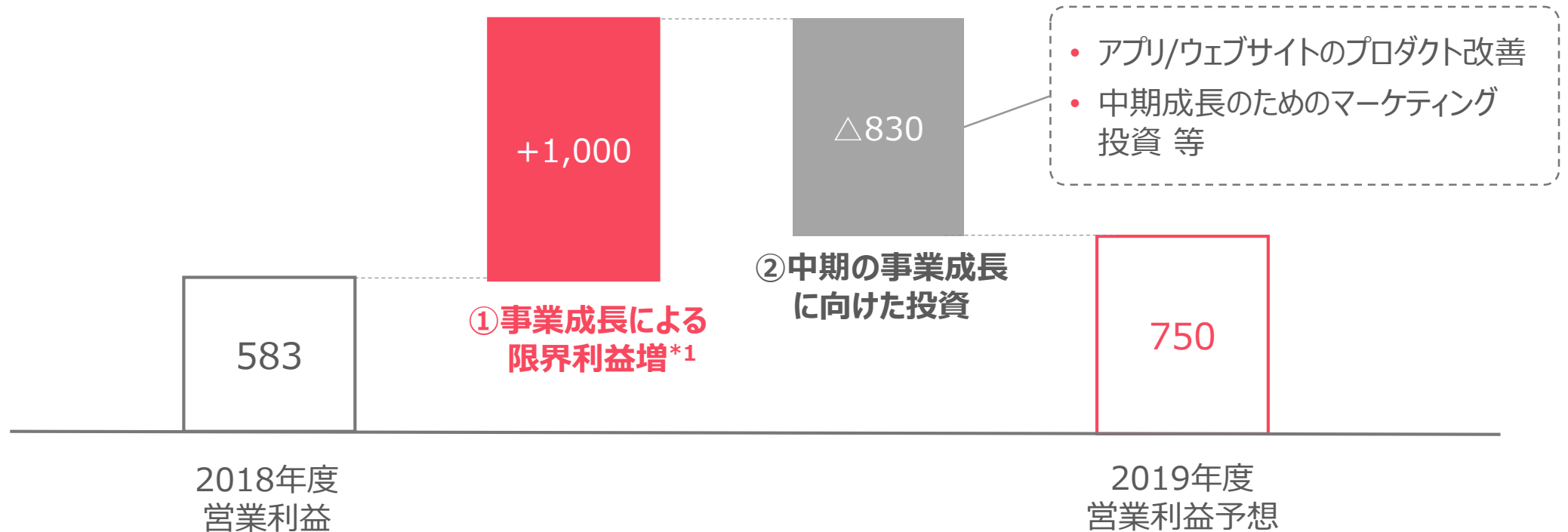
各事業領域の成長により、前年度比28%増の19,000百万円を見込む



*1: 電子書籍提供の一部契約終了による影響 (△2,100) 考慮後

利益率を維持した上で、中期ビジョン実現に向け事業投資を継続

(単位: 百万円)



*1: ヤフーとの費用負担・利益按分考慮後

1 2018年度 実績

- ・業績
- ・施策・トピックス

2 2018年度 第4四半期実績

3 今後の計画

4 参考資料

株式会社イーブックイニシアティブジャパン eBOOK Initiative Japan Co., Ltd.

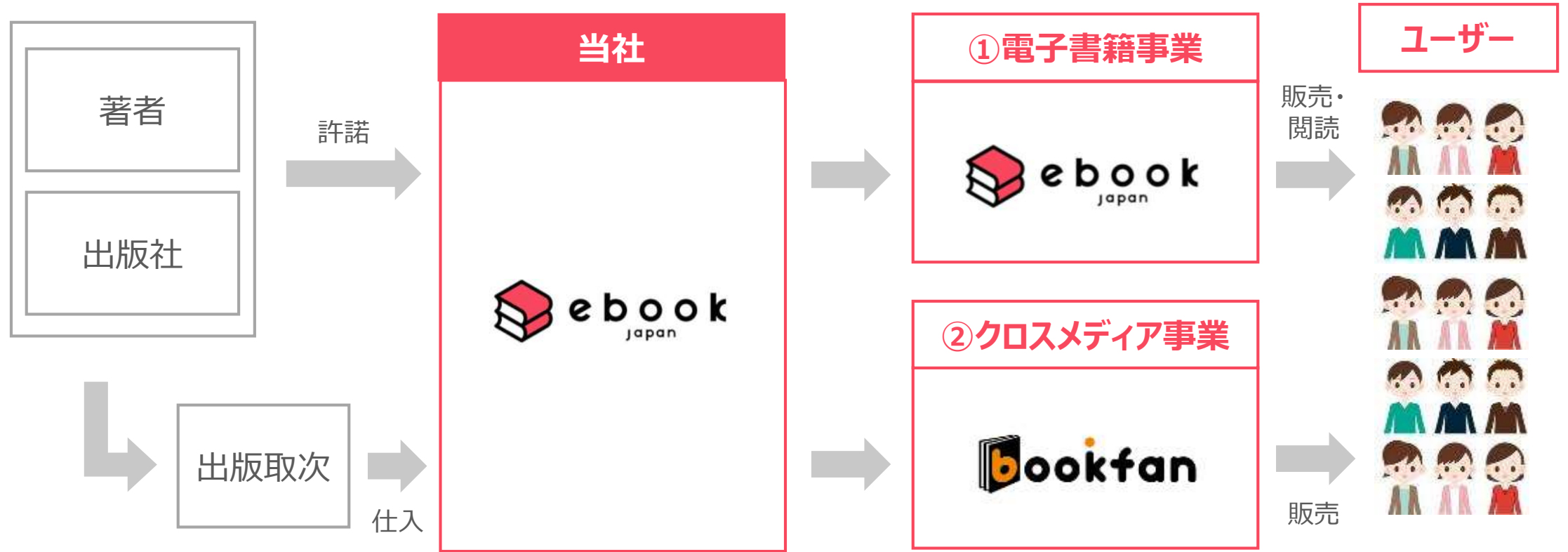
設立	2000年5月17日
本社所在地	東京都千代田区麹町 1 - 12 - 1 住友不動産ふくおか半蔵門ビル 代表電話： 03-3518-9544
マザーズ上場日	2011年10月28日 (証券コード： 3658)
市場第一部上場日	2013年10月28日 (証券コード： 3658)
事業内容	電子書籍事業 (電子書籍配信, 電子書籍提供), クロスメディア事業
代表者	代表取締役社長 高橋 将峰 ※2019年4月1日就任
資本金	872,904千円 (2019年3月末日現在)
決算期	3月31日
主要取引先	出版社、編集プロダクション、決済代行会社
役職員数	192名 (2019年3月末日現在)
ウェブサイト	https://ebookjapan.yahoo.co.jp/

創業者が出版社勤務時代に、大量の返本の山が断裁・焼却処分されることに地球環境への危惧を抱いたことが、当社の創業に至ったきっかけです



当社は創業以来 累計1億冊以上の電子書籍を販売し、50万本以上の木を救ってまいりました。

電子書籍事業は著者/出版社から許諾を受けた作品を電子書籍化し、ユーザーに販売。
クロスメディア事業は当社の運営するオンライン書店において、紙書籍を販売



電子書籍販売



「人生に、漫画を。」

- 毎日無料でマンガを楽しめるアプリ
- お得なキャンペーン豊富なWeb
- 幅広いユーザーにアプローチする品揃え・サービス

紙書籍オンライン販売



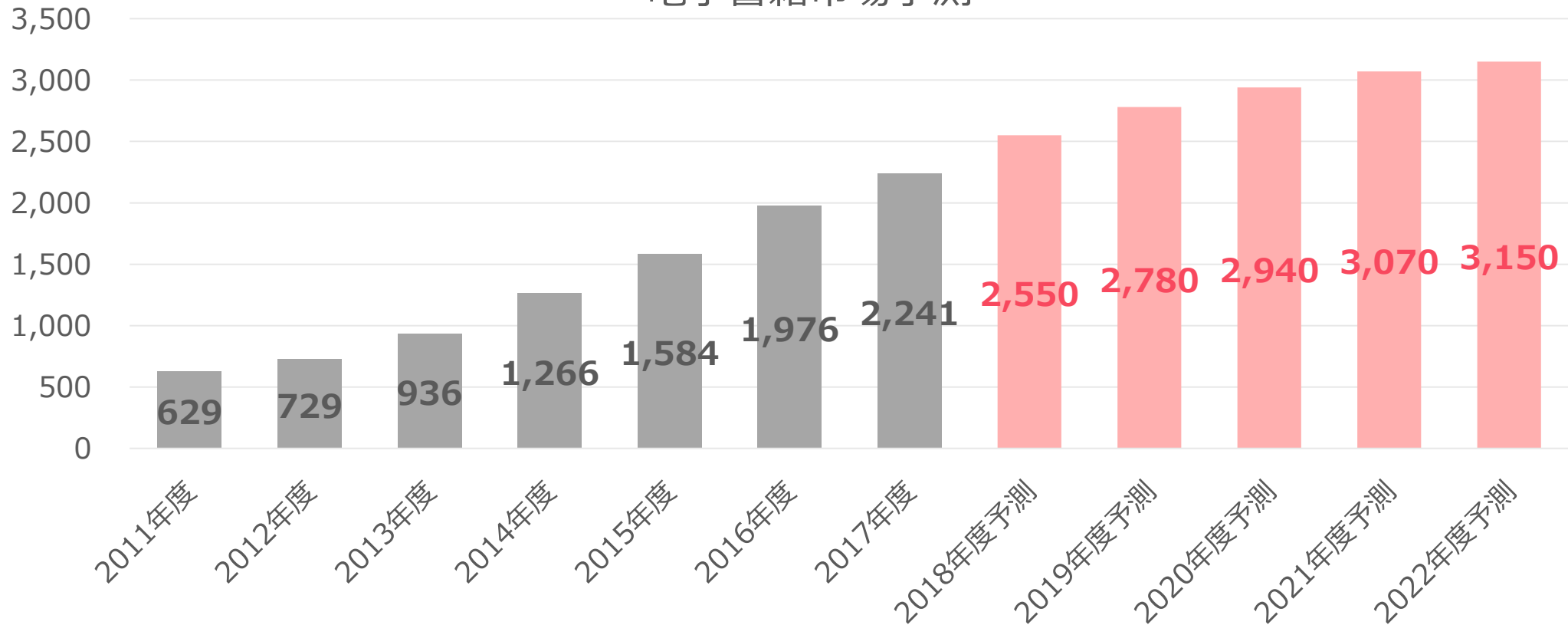
「毎日にストーリーを。」

- Yahoo!ショッピングをはじめとしたモールサイトに店舗展開
- 1冊の購入から送料無料でお届け
- 2018年度年間ベストストア四冠
(Yahoo!ショッピング、楽天市場、ポンパレモール、Wowma!)

電子書籍の市場規模は今後も順調に拡大し、5年後には3,000億円超にまで成長する見込み

(単位: 億円)

電子書籍市場予測



出典: 電子書籍ビジネス調査報告書 2018 (c) Impress Corporation インプレス総合研究所

「日本の豊かな出版文化で 世界中を幸せにする」

面白さ、読みやすさ、わかりやすさ。

日本のマンガ・書籍の充実ぶりは、諸外国と比べ群を抜いています。

ジャンルや表現もさまざまで、他国と比べとても自由で多彩です。

そのような環境で生まれた突き抜けた作品は、普段の生活ではなかなか味わえない大きな感動、発見、インスピレーションを人生にもたらしてくれます。

世界的トップアスリートがスポーツを始めたきっかけが、日本発のマンガとの出会いだったこともあるのです。

言葉の壁を越え、日本の豊かな出版文化で世界中に住む多くの人の人生を少しでも幸せにすること。

それが私たちのミッションです。

- 本資料は、これまでの業績および事業計画に関する情報の提供を目的として、当社が作成したものです。
- 本資料に掲載されている将来の見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因の変化等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。
- 投資に際しては、当社が公表している各種資料およびホームページ、またEDINETに開示している情報をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなされるよう、お願い致します。
- なお、本資料は電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送・転載はできません。